

# ブロック活動報告書

活動申請書:No.2018-14

作成日:2018年10月27日

ブロック:北海道ブロック

名称: ブロック会議

1. 実施日時: 2018年10月20日(土) 10時~13時、17時~18時

2. 会 場: 孝仁会記念病院 会議室

3. 参加人数: 計 3 人(北海道)

4. 活動内容の報告

(1) 活動の目的

研修会(ワーキング)の準備、振り返り

(2) 具体的な内容

- 研修会(ワーキング)の目的およびプログラムの内容の確認
- 会場設営・準備
- 研修会(ワーキング)開催後の振り返り

(3) 活動の効果

- ブロック会議を事前に予定していたが、地震の影響のため会議開催ができず、メールを使用して、アンケート結果や講義資料、GW のテーマなどの意見交換を行った。結果として、当日のブロック会議では、会場設営や資料の準備など、具体的な内容の確認を行う場として活用することができ、研修(ワーキング)もスムーズに開催、進行することができた

研修会(ワーキング)の振り返り

- 研修(ワーキング)全体としては、高評価だったが、「アンケート結果だけを提示されても、良く分からなかった」という意見もあり、アンケート結果の提示方法については、見直しが必要。また、アンケート結果から、どう読み解くかについて、今後検討必要。
- 今回のワーキングから、24時間対応を確立できていないステーションや24時間対応に不安を感じている訪問看護師は、どのような支援を必要としているかイメージを掴むことはできた。今回は、訪問看護認定看護師がいる地域での研修会(ワーキング)としたが、今後、他の地域でもデータを収集していくことも必要との意見あり。
- 次回は、北見地域での研修(ワーキング)を企画していく予定。

# ブロック活動報告書

活動申請書:No.2018-14(2)

作成日:(西暦) 2018年10月27日

ブロック:北海道ブロック

名称: 研修会

1. 実施日時:2018年10月20日(土) 13時~17時

2. 会 場: 孝仁会記念病院 会議室

3. 参加人数:計 3 人(北海道)

4.活動内容の報告

(1)活動の目的

24時間対応を確立できていないステーションや24時間対応に不安を感じている訪問看護師は、どのような支援を必要としているのか知る  
(利用者も24時間対応を行っている看護師も安心できる体制づくり)

(2)具体的な内容

別途資料添付(資料4)

(3)活動の効果

- 研修会(ワーキング)での講義やGWは、緊急時の対応への不安や心配の軽減につながったというアンケート結果より、目的を達成するために効果的であったと思われる
- 事前アンケートの24時間携帯当番で負担に感じている事について質問した項目では、1位(時間的な制約)、2位(漠然とした拘束感)、3位(日常生活に気をつかう)と1位~3位は対応そのものより、自分達の生活に関する項目が上位となっており、利用者への対応は4位であった。しかし、当日のGWでは、事前アンケートの1位~3位の項目についての発言は全くなく、4位の利用者への対応についての不安や心配についての意見がほとんどであった。
- 講義だけではなく、GWを通し、自分の言葉で不安や心配なことを他者に伝え、共有できたという体験も緊急時の対応への不安や心配の軽減につながったことが理解できた。



~研修の様子~